

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年3月26日～3月30日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
3月26日	新設A排水路通水時の状況確認	推進立坑 既設A排水路接続枡 新設A排水路(付替部)流末部	○新設A排水路の通水が3月26日に開始されることから作業に立ち会った。 クレーンで既設A排水路接続枡に設置していたライナー及び枡内への雨水浸入防止として排水路内に設置していた土のうを撤去した直後、溜まっていた雨水が枡内に流れ込み、通水が開始された。 通水直後、下流の推進立坑の状況を確認したところ、特に異常なく排水されていることを確認した。	10時34分
3月27日	固体廃棄物貯蔵庫第9棟付帯設備棟の保安設備の確認	固体廃棄物貯蔵庫第9棟	○固体廃棄物貯蔵庫第9棟の付帯設備棟に設置されている保安設備について確認した。 付帯設備棟地下1階には火災対策として、消火ポンプユニット及び消火ポンペが設置されていた。 付帯設備棟屋上階には排気機械室が設置されており、排気中の放射性物質を測定するためのサンプリングラックが設置されていた。東京電力によると、週1回の頻度で核種分析を行っているとのことであった。	10時10分
3月28日	処理水バッファタンク取替に伴う周辺機器移設状況の確認	既設処理水バッファタンク周辺	○既設フランジ型タンクの処理水バッファタンクを溶接型タンクに取替えることに伴い、周辺設備の移設作業が行われていたが、3月22日に完了予定とのことから現場を確認した。 前回(平成30年3月12日)は、非常用高台炉注水ポンプ用ディーゼル発電機を移設していることを確認したが、今回、窒素タンクや共用ヘッダC等も移設されており、対象の設備が全て移設されていることを確認した。	10時13分
	サブドレン増設集水タンク設置状況の確認	T.P.2.5m盤	○T.P.2.5m盤に4基増設された集水タンクの設置工事の状況について確認した。前回(平成30年3月16日)から、新たに堰内コーキングが完了していることを確認した。	
3月29日	淡水化RO装置近傍の雨水受入タンク等に敷設している耐圧ホースの漏えい防止対策等の状況確認	淡水化RO装置雨水受入タンク周辺	○淡水化RO装置近傍の雨水受入タンク及び処理水タンクに敷設している耐圧ホースの漏えい防止対策の実施状況を確認した。 ホースの連結部が堰外にあるホースを中心に確認したところ、ワイヤーによるホース抜け防止対策、耐圧ホース連結部をビニール養生することによる漏えい防止対策、ホース連結部が金属製であるため水の凍結による体積膨張で抜けないようにするための対策(保温材の取り付け)が実施されていることを確認した。	10時11分
	J1雨水回収タンクの現況確認	J1雨水回収タンク	○淡水化RO装置の南側に設置されているJ1雨水回収タンクの現況を確認した。 溶接型タンクが1基設置されており、J1西、J1中及びJ1東タンクエリア内堰内からの受入配管が敷設され、タンクの周囲のコンクリート堰は完成していた。	
3月30日	多機能沈殿池の設置状況及び排水中の放射性物質のモニタリング状況の確認	多機能沈殿池 伐採木一時保管エリアG	○土地の造成工事に伴い発生する濁水を浄化する設備である多機能沈殿池について、設置状況及び排水中に含まれる放射性物質のモニタリング状況について聞き取り調査するとともに現場確認を行った。 事故のフォールアウトにより、発電所敷地内は汚染されたものの、敷地北側は汚染の影響は小さく、多機能沈殿池からの排水は、下流の弁でサンプリングを行っており、放射性物質がほとんど無いことを確認しているとのことであった。 今後も土地の造成工事が進められていくことから、定期的にモニタリングを行っていくとのことであった。	10時47分

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。